

記入例

黄色ハイライト：行政書士又は行政書士法人（以下「適格代理人」という。）による代理申請の場合

様式第 1

根拠法規	とうもろこし等の関税割当 制度に関する省令第 1 条
主務官庁	農 林 水 産 省

適格代理人が作成及び提出する申請・報告書類における申請者氏名（名称）及び申請者住所は、申請・報告当事者の申請者氏名（名称）及び申請者住所に加え、適格代理人の登録番号、氏名、事務所名称及び事務所所在地も併記すること。

関 税 割 当 申 請 書

※受付番号

※受付年月日

電 話 番 号

〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

携帯番号

電子メールアドレス

申請者氏名（名称） 〇〇〇〇株式会社
 適格代理人氏名（名称） 登録番号 第〇〇〇〇〇〇〇〇号
 行政書士 〇〇〇〇
 〇〇行政書士事務所
 申請者住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地〇
 適格代理人事務所所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇番地〇

代 表 者 名 代表取締役 〇〇〇〇

資 格 (例) 第 2 の 1 の (1)

又は

第 2 - 1 - (1)

申 請 年 月 日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

申請の明細

関税率 表番号	品 名	数量及び単位	実 績		主な使用の計画	備 考
			使 用	輸 入		
(例) 1107.10 1107.20	(例) 麦 芽	〇〇kg 又は 〇〇ト	〇〇kg 又は 〇〇ト	(例) 合計 〇〇kg又は〇〇ト [一般 〇〇kg又は〇〇ト EPA 〇〇kg又は〇〇ト 枠外 〇〇kg又は〇〇ト]	(例) ビール、発泡酒若 しくはウイスキー 製造用又は販売用 〇〇kg 又は 〇〇ト	(例) 大麦麦芽 又は大麦芽粉 小麦麦芽 又は小麦麦芽粉 分割申請 有・無

注 1 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とすること。

2 ※印のある欄には記入しないこと。

<記入上の注意>

「関税割当申請書等の記載要領について（令和6年3月1日付け5輸国第4383号）（以下「記載要領」という。）」の1に定めるほか、関税割当申請書の受付の担当課が別途指示する場合を除き、次によるものとする。

【記載要領（抜粋）】

1 関税割当申請書（省令別記様式第1）

(1) 関税割当申請書（以下「申請書」という。）は、「受付番号」及び「受付年月日」の欄を除いて、関税割当申請者（以下「申請者」という。）が記入し、省令第6条に基づく関税割当公表（以下「割当公表」という。）に定める申請書の受付の担当課及び関税割当証明書（以下「証明書」という。）の交付の担当課（以下「受付・交付担当課」という。）に1通提出する（沖縄県の区域内に割り当てる分（以下「沖縄枠」という。）についても同様とする。）。なお、申請書の提出者は、申請者が法人又は団体の場合にあつては代表権者に、個人事業者の場合にあつては事業主（代表権者又は事業主から委任された者を含む。）に限る。

(2) 申請書の記入方法

ア 「申請者氏名（名称）」及び「申請者住所」の欄には、法人又は団体にあつては登記された商号又は団体名称及び住所を、個人事業者にあつては商号又は屋号等及び住所を、これらを使用していないときは、個人事業者本人の氏名及び住所を記入する。

イ 「代表者名」の欄には、法人にあつては代表権を有する役員の役職名及び氏名を、個人事業者にあつては個人事業者本人の氏名を記入する。

ウ 「申請年月日」の欄には、申請書を提出する年月日を記入する。

エ 「電話番号」の欄には、代表的な番号等を記入する。

（補足：代表的な番号として、可能な限り、確実に連絡可能な携帯番号及び電子メールアドレスを併記すること。）

オ 「資格」の欄には、割当公表中「関税割当申請者の資格」に掲げる資格要件が複数ある場合に限る、該当する資格要件の番号を記入する。

（補足：（記入例）第2の○の○又は第2-○-○、なお、当該資格要件が複数ない場合は、本欄への記入は要しない。）

カ 申請の明細中「関税率表番号」の欄には、割当公表中「割当対象物品」に記載された6桁の番号のうち、キの品名に該当する番号を記入する。

キ 申請の明細中「品名」の欄には、割当公表中「割当対象物品」及び「用途」の名称等を記入する。

ク 申請の明細中「数量及び単位」の欄には、割当てを希望する数量及び単位を記入する。

ケ 申請の明細中「実績」の欄には、当該関税割当てによる使用及び輸入の実績のほか、枠外税率並びに経済連携協定に基づく関税割当てによる使用及び輸入の実績をそれぞれ次のとおり記入する。このうち、「輸入」の欄には、申請者名義により輸入通関した数量を記入する。

(7) 当該年度における申請にあつては前年度における使用及び輸入の実績

(イ) とうもろこし（コーンスターチ用）の場合、当該年度上期における申請にあつては前年度下期、当該年度下期における申請にあつては当該年度上期における使用及び輸入の実績

（補足：前年度又は前（上・下）期における使用数量（前年度又は前（上・下）期期初在庫を使用（又は販売）した数量を含む。）及び輸入数量（当該関税割当て、経済連携協定に基づく関税割当て及び枠外税率によるそれぞれの実績並びにこれらの実績の合計）を記入すること。なお、前年度又は前（上・下）期に使用又は輸入がない場合は、それぞれの欄に「0」と記入すること。）

コ 申請の明細中「主な使用の計画」の欄には、次のとおり記入する。

(7) 当該年度における申請にあつては当該年度における主な使用の目的（用途）及び計画数量

(イ) とうもろこし（コーンスターチ用）の場合、当該年度上期における申請にあつては当該年度上期、当該年度下期における申請にあつては当該年度下期における主な使用の目的（用途）及び計画数量

（補足：当該申請時点において、使用を計画している主な目的（用途：（記入例）ビール、発泡酒若しくはウイスキー製造用又は販売用）及び当該目的（用途）別の数量を記入すること。）

サ 申請の明細中「備考」の欄には、必要に応じて銘柄その他申請に関し必要な事項を記入する。